



春日井ロータリークラブ

2012～2013年度 WEEKLY REPORT

クラブテーマ

ロータリーの奉仕の原点に返ろう



書の街



内津神社



密蔵院

会 長：名畑 豊
副 会 長：社本 太郎
幹 事：志水ひろみ
会報委員長：加藤久仁明
T E L：(0568) 81-8498
F A X：(0568) 82-0265

例 会 日：金曜日 12:30～13:30
例 会 場：ホテルプラザ勝川
事 務 局：春日井市鳥居松 5-45

E-Mail : ksgj-rc@gaea.ocn.ne.jp

サボテンは春日井市のシンボル

本日のプログラム

- | | | |
|--------------|----------------|--------|
| ・点 鐘 | 司会 | 蓮野 美廣君 |
| ・国 歌 | | 名畑 豊君 |
| ・ROTARY SONG | 「君が代」 | |
| ・ビジター紹介 | 「われら日本のロータリアン」 | |
| ・食事・歓談 | | 名畑 豊君 |
| ・委員会報告 | | |
| ・会長挨拶 | | 名畑 豊君 |
| ・卓 話 | | 近藤 太門君 |
| ・幹事報告 | | 志水ひろみ君 |
| ・点 鐘 | | 名畑 豊君 |

先週の記録

幹事報告 幹事 志水ひろみ君

報告事項

：ケローナ青年大使一行の例会訪問
平成24年10月19日(金)
ナジャ・タカー氏(レディ・オブ・ザ・レイク)
ラダーン・ヤーガー氏(随行者)
：2012年ケローナ青年大使歓迎会
平成24年10月21日(日)
PM6:00～7:30
ホテルプラザ勝川 2F 「さくら」
出席者 名畑 豊会長
：平成24年度「青少年健全育成推進大会」
第35回実践体験文表彰式並びに発表会
平成24年11月3日(土) PM1:30から
春日井市総合福祉センター2階 大ホール
出席者 名畑 豊会長
：例会場名称変更 豊橋ゴールデンRC
ホテル日航豊橋 ロワジールホテル豊橋

2012年10月5日(金)第2110回(10月第1例会)

名称変更のみ住所、電話番号は変更なし

2012年11月1日より

例会変更

名古屋丸の内 RC	10月18日(木) 10月18日(木) 15:30 家族会の為 御園座
多治見リバーサイド RC	10月9日(火) 10月9日(火) 19:00 合同例会の為 和や
羽 島 RC	10月16日(火) 10月16日(火) 12:30 合同例会の為大垣フォーラムホテル
愛知長久手 RC	10月9日(火) 10月9日(火) 例会場都合の為 ござらっせ
愛知長久手 RC	10月16日(火) 10月21日(日) 職場例会の為モクモクファーム
尾 張 旭 RC	10月12日(金) 10月13日(土) 9:00 市民祭の為スカイワードあさひ
犬 山 RC	10月16日(火) 10月18日(木) 12:30 ガバナー公式訪問の為名鉄犬山ホテル
名 古 屋 葵 RC	10月18日(木) 10月18日(木) 職場例会の為 未定
江 南 RC	10月18日(木) 10月18日(木) ガバナー公式訪問の為名鉄犬山ホテル
小 牧 RC	10月17日(水) 10月18日(木) 12:30 ガバナー公式訪問の為名鉄犬山ホテル
名古屋千種 RC	10月16日(火) 10月12日(金) 1 創立記念例会の為名古屋東急ホテル
名 古 屋 港 RC	10月12日(金) 10月12日(金) 職場例会の為 富士精工(株)

職業月刊・米山月間

例 会 予 定	10月12日(金) 祝福 卓話 姉妹提携報告 自己紹介森田 誠君	10月19日(金) 卓話米山月間 米山奨学委員長 中島 実君	10月26日(金) 職場例会 メガソーラー武豊	11月2日(金) 理事役員会 11:30 クラブ協議会 13:30 卓話ロータリ財団
------------------	---	---	-------------------------------	---

ホームページ： <http://www.kasugai-rc.jp>

E-mail： ksgj-rc@gaea.ocn.ne.jp

名古屋清須 R C	10月16日(火) 10月16日(火) 職場例会の為
名古屋守山 R C	10月17日(水) 10月17日(水) 家族会の為

出席報告 委員長 和田 了司君

会員 51名	欠席 22名	出席率 70.7%
先々週の修正出席	欠席 3名	出席率 96%

ビジター紹介 会長 名畑 豊君
名古屋千種 R C 山本 真輔君

ニコボックス報告 委員長 大畑 一久君

結婚記念日の祝をさせていただきありがとうございます。
名畑 豊君
祝福の皆さんおめでとうございます。

近藤 太門君
結婚記念をもらう喜びで。加藤久仁明君
今日からサボテンの焼きドーナツ発売です。
社本 太郎君
いつもホテルをご利用いただきありがとうございます。
早川 八郎君

祝福の皆さんおめでとう。

足立 治夫君	浅井 瀧治君	磯野 俊雄君
伊藤 純君	岡田 義邦君	風岡 保広君
加藤 宗生君	小島 啓治君	志水ひろみ君
清水 勲君	杉山 孝明君	高橋 理恵君
峠 テル子君	成瀬 浩康君	新美 治男君
林 鑛三君	蓮野 美廣君	屋嘉比良夫君
和田 了司君	大畑 一久君	

春日井ロータリーあしながおじさんプログラム報告

作成 名畑 豊

1、概要

このプログラムはフィリピンの高校2年生(フィリピンには中学生、高校生の区別はない。日本の基準では中学2年生になり、年齢愛材協は13歳から14歳になる。)に奨学金を支給するプログラムである。期間は2年間の計画である。2年間の奨学金の合計は、高校生一人につき総額4万円を支給する。ロータリーメンバーが負担する金額は1年につき2万円になる。ロータリーのメンバー一人に対して、高校生一人の支給方式である。この方式は、ロータリーメンバーが基本的には、奨学生に直接、奨学金を渡すものである。

2、「あしながおじさん」とは

(インターネットから抜粋)
『あしながおじさん』(Daddy-Long-Legs)はアメ

リカの作家ジーン・ウェブスターが1912年に発表した小説・児童文学作品である。(本文作成者(注)ちょうど今年、この小説が発表されてから100年目にあたる。あしながおじさん発表100周年記念行事になる。)

孤児院で育った少女ジュディが一人の資産家の目にとまり、毎月手紙を書くことを条件に大学進学のための奨学金を受ける物語であり、ジュディが援助者を「あしながおじさん」と呼び、日々の生活をつづった手紙自体が本作品の内容となっている。手紙中、ジュディ自身が書いたという設定で挿まれる絵もウェブスターの手による。

身寄りのない少女に進学のための援助を行なう「あしながおじさん」は、現代日本では広く学生への援助者の意味で用いられ、遺児奨学金のための原資拠出を行なう人を「あしながおじさん」と呼ぶあしなが育英会や交通遺児育英会等がある。アメリカをはじめとして数度映画化され、日本では1979年と1990年にテレビアニメ化された。原題の"Daddy-Long-Legs"とはクモに縁の近い小動物であるザトウムシのことで、作品中にもこの蜘蛛に似た虫が登場している。

ジョン・グリア孤児院のジュディは、ある日院長室に呼び出される途中、西陽によって正視を妨げられながら、廊下に落ちた長い長い“人影”を見ることになる。まるでそれはガガンボのようなどても足の長い虫さながらであった。

院長からジュディは、孤児院の評議員の一人に彼女の才能を見込まれて、毎月一回学業の様子を手紙で報告することを条件に、大学進学のための資金援助を匿名で与えられることになったと知らされる。さっき一瞬だけ見えた後ろ姿こそ、その評議員であることを知り、のちに彼女が彼を「あしながおじさん」と呼ぶきっかけとなる

2、春日井ロータリーあしながおじさんの特徴

ロータリーメンバーひとりにつき、奨学生ひとりに対応する。

期間を2年間とする。

奨学生は春日井ロータリーのあしながおじさんに3ヶ月に1回、手紙と写真を送る。奨学生から、手紙、写真が送られない場合は、奨学金の支給を中断する。ロータリーメンバーが誰か、あしながおじさんが分からないにする。できれば、1年半から2年の間に、ロータリーメンバーと奨学生が面談することができる。

このプログラムは春日井ロータリーの事業ではなく、ロータリーメンバー個人の活動である。

3、面接(2012年9月17日(月)実施)

・学校の名称 Arcelo Memorial National High School

6、「あしながおじさん」のあらすじ

(インターネットより抜粋)

ジョン・グリア孤児院のジュディは、ある日院長室に呼び出される途中、西陽によって正視を妨げられながら、廊下に落ちた長い長い“人影”を見ることになる。まるでそれはガガンボのようなとても足の長い虫さながらであった。

院長からジュディは、孤児院の評議員の一人に彼女の才能を見込まれて、毎月一回学業の様子を手紙で報告することを条件に、大学進学のための資金援助を匿名で与えられることになったと知らされる。さっき一瞬だけ見えた後ろ姿こそ、その評議員であることを知り、のちに彼女が彼を「あしながおじさん」と呼ぶきっかけとなる。

なお、ジュディが見込まれたのは、院の生活ぶりをシニカルに描いた作文であり、そのタイトルに「ブルーウェンズデー (Blue Wednesday “憂鬱な水曜日”の意)」とつけたユーモアのセンスである。

大学では、彼女は孤児院で与えられた名前(ジェリッシュ)を嫌がって自らをジュディと呼び、同級生のサリー・マクブライトやジュリア・ペンドルトンとともに学生生活を送り、その詳細をあしながおじさんに手紙の形で送り続ける。初めて孤児院の外で生活をするようになったジュディは、自分自身でお金を出して買い物をしたことや読んだ本のこと、出席したパーティのことといった体験をその都度自らの感性で手紙に書き記していく。長期休暇時の農園滞在、ニューヨーク訪問、サリーの兄のジミー・マクブライトやジュリアの親戚のジャービス・ペンドルトンといった男性との交友、自らの小説の商業出版といった経験の後、ジュディは大学を卒業する。

ジュディはこれまでも長期休暇期間に訪れていたロック・ウィロー農園で卒業後の生活を始め、作家を目指して小説を書き進めながら、あしながおじさんへの手紙を止めることなく書き続ける。やがて、ジュディはジャービス・ペンドルトンからプロポーズを受けるが、孤児院出身であるという経歴を打ち明けることができず、彼を愛しながら拒絶してしまう。煩悶したジュディが自分の気持ちを手紙にしてあしながおじさんに送ると、会って話を聞くという返事が返ってくる。初めての対面に緊張しながらニューヨークに向かったジュディがあしながおじさんの部屋に通されると、そこにいたのはジャービス・ペンドルトンであった。ジャービスがあしながおじさんであったことを知らされたジュディはプロポーズの返事を「あしながおじさん」に向けて手紙で送る。それは、初めて「家族」を得たジュディが書いた、初めてのラブレターであった

初めての夜間例会



(会員誕生の皆さん)



(結婚記念の皆さん)



(東港RC訪問皆さん)

